令和３年　　2月15日発行　通巻108号

広報しらさぎ

Shirasagi home news letter

105歳　おめでとうございます

しらさぎホーム最高齢のご利用者が、2月に105回目のお誕生日を迎えられます。38歳当時のお写真を広報しらさぎへお借りすることができました。昭和29年（67年前）の鷺宮の様子も見られます。土筆橋のあたり。桜もまだ若木です。

1916年の出来事
ベルリンオリンピック第一次世界大戦により中止
日本でコレラの流行7500人の死者
裕仁親王（昭和天皇） 立太子礼
アインシュタイン 「一般相対性理論」を定式化

1916年（大正5年）生まれの増田様、55歳の写真です。敬虔なカトリックの信者で、片道1.6kmの道のりを毎日歩いて礼拝に行かれた健脚は、長寿の秘訣でしょうか。 結婚前からの茶道、50歳からのアートフラワーと趣味も多彩で、ボランティア活動もされていたそうです。いつも着ていたという和服、とてもお似合いですね。笑顔で穏やかな増田様、これからもお健やかにお過ごしください。

貴重なお写真ありがとうございました。

年末お楽しみ会

デイサービス

そば打ちを行いました。ご利用者も伸ばしたり切ったりと手伝ってくださいました。見ることはあっても打つ機会は少ないですね。そばを切る包丁の音に合わせて掛け声が入り、盛り上がりました。

曜日対抗ゲームでは羽根つきをアレンジし、桶に入れて点数を競うゲーム等で盛り上がりました。

特　養

特養では日曜日のホールを使い、職員の余興を中心とした「年末お楽しみ会」を行いました。ご利用者に楽しんでいただくため、アイディアを練り、練習した舞台姿は、いつもの職員とは違う一面も見られたのではないでしょうか？

新年の集い

特　養
～お正月の雰囲気を楽しんで～

しらさぎ神社神主(?)による祈祷

2021年丑年を迎えたことを祝い、新年の集いを行いました。各フロアで初詣とおみくじができるよう、移動式しらさぎ神社を建立。獅子舞とともに各フロア、居室を巡りました。今年の運勢を占うおみくじは、大吉がでれば大喜び、内容を読んでまた笑顔。獅子舞に噛まれて驚く姿もあり、とても賑やかな時間となりました。

皆さんが笑って過ごせる穏やかな一年にしたいですね。

昼食は
10kgの鰤（ぶり）を
さばいて提供

デイサービス

こちらは節分の準備

ご利用者に一文字づつ書いてもらった賀詞が壁を飾っています。年明け、しらさぎ神社に参拝し、おみくじを引いてから「福笑い」をしました。目隠しをして、周りの声を頼りに目や鼻を置いていくと、愉快な顔がたくさん。楽しい時間を過ごしました。

窓越し面会

～ご家族との交流の場～

緊急事態宣言下、しらさぎホームにおきましても感染予防対策を継続して行っています。面会は「窓越し」とし、ご予約をいただいて実施しています。距離は近いのですが、窓ガラスがあり声が届かないため、専用の電話で通話をしながらの面会です。

家族と対面されると、普段では見られなかった表情が見られたり、声を聴くことができ、職員にとっても貴重な機会となっています。まだまだご不便をおかけする日々が続きますが、少しでもご家族との交流の場を作ることができるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

技能実習生

～技能検定試験　合格祝いは**国語辞典**でした～

日本に来てからたくさんの事を勉強しました。職員さんに教えてもらい、仕事がわかってきて、楽しくていっぱいやる気が出ました。けれど日本語を勉強しないといつまでも介護の仕事ができないと思います。これからも日本語と介護の事をもっともっと勉強してわかりたいです。（フリアニ）

昨年3月より配属された外国人技能実習生でインドネシア人のフリアニさん、フィトリさんが、介護技術実習評価試験（初級）の学科試験及び実技試験に合格しました。入職してからも一生懸命に勉強をしている彼女達ですが、先輩職員と一緒に試験対策勉強をし、自宅に帰っても頑張っていたそうです。

今ではすっかり仕事にも慣れて、日本人の職員同様に活躍しています。一緒に働く大切な仲間です。改めて合格おめでとうございます！

私にとって介護の仕事は大変で難しいですが、とても楽しいです。いつも教えてくれた指導員さんと一緒に頑張りました。また他の職員さんも応援してくれました。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。（フィトリ）

職員紹介

2月から入職しました。「趣味は？」と聞かれましたが、浮かばなかったので新たに何か挑戦してみようと思います(笑)。早く通常業務に入れるよう、精一杯頑張っていきます。

特養ケアワーカー　沼田倖歩

編集後記

今号では105歳のご利用者を紹介いたしました。1916年は、日本でコレラが流行していたり、オリンピックが延期されていたり、今の世の中と共通したところもあったのだと驚きました。年表を見ただけでは「歴史」としかとらえられなかった出来事が、ご利用者の写真を通してみると、その方が暮らしてきた生活として思い浮かべることができました。

記事・編集担当職員　鈴木・細野・相澤・梨本

社会福祉法人　中野区福祉サービス事業団
しらさぎホーム

〒165-0035　中野区白鷺２－５１－５
TEL　03-3336-6511
◇事業団ホームページ
https://www.nakano-fj.jp/
◇メールアドレス
nakano-j@nfsj.jp